

令和

3 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	(水道)水のたいせつ啓発事業	会計名称 予算科目	水道特別 1 款 1 項 4 目 事業番号 9939	担当課 所属長名	水道課 長岡崇	
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)			担当責任者名	中沖賢一	
法令根拠等	水道法			実施期間 【開始】	令和／平成 22 年度	
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造 潤いのある水環境づくり			【終了】	令和 年度(予定) ■ 設定なし	
総合計画における本事業の役割	潤いのある水環境づくりにおいて、限られた資源である水の大切さを認識してもらう。					
事業の対象	市民（水道利用者）	事業の目的	水の大切さを再認識し、水道事業に対する理解の推進を図る。			
事業の内容 (整備内容)	全国で実施される水道週間に併せて水道に関する市民の関心を深め、水の大切さを認識してもらうよう、広報誌やホームページでの節水に対する啓蒙・啓発活動を実施する。	昨年度の課題に 対する具体的な 改善策	水道週間に併せて、本庁舎、各地域事務所等に懸垂幕を設置し周知を図ったが、新型コロナウィルス感染症拡大等に配慮した活動については、継続して検討を図る。			

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）						
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	3年度予定	9月末の実績	3年度実績	
直 接 事 業 費	120	204	0	0	0	120	浄水場施設見学	人	261	66	66		
国 庫 支 出 金	0	0	0	0	0	0							
県 支 出 金	0	0	0	0	0	0							
地 方 債	0	0	0	0	0	0							
そ の 他	0	0	0	0	0	0							
一 般 財 源	120	204	0	0	0	120							
職員の人工（にんく）数	0.04	0.04				0.04							
1人工当たりの入件費単価	7,812	7,841				7,841							
※ 直接事業費+入件費	432	518				434							
主な実施主体	直接実施	実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄）											
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)							4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度	5年間の合計	
成 果 指 標	指 標	浄水場施設見学における見学者の実施数量のみを記載する。					200	200	200	200	200	1,000	
							単位 人	→	区分年度	前 年 度	3 年 度	4 年 度	目標 每 年 度
	指標設定の考え方	本事業の活動内容は広報や利用者サービス等多岐にわたる。主に小学生を対象としている浄水場施設見学の人数を活動の指標とするが、要望に基づく事業実施であるため、事前に目標値を設定することは困難である。					目 標						
		浄水場を見学し、どこから来た水をどのようにきれいにして利用者のもとに届けるのか、といった仕組みを知ることで、限られた水資源の大切さを理解・認識してもらう。					実 績		261	66			

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		水の大切さについて小学生の課外授業として浄水場施設見学が実施されており、その際に職員による出前授業を行っている。昨年度に引き続き、上半期についてはコロナ禍により実績数は低下しているが、水がどのように作られ各家庭に配られているのかなど関心が寄せられ、質問も多岐にわたっており水の大切さに対する理解が深められていると感じができる。									
事務事業の評価	自己判定（担当責任者）	妥当性	目的の妥当性	5 施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。 4 概ね、施策の目的に沿った事業である。 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業成果・工夫した点	小学生の課外授業であるため、分かりやすい資料の作成と説明について心がけ、水がどのように作られ安全で安定的に各家庭に配られているかといった仕組みと大切さについて理解を得られるよう努めた。		
			社会情勢等への対応	5 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 4 3 2 1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。	3						
			市の関与の妥当性	5 市が積極的に関与・実施すべき事業である。 4 3 2 1 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。 1 市は関与しないで、民間や市民団体等に委ねるべきである。	4						
		有効性	事業の効果	5 市民生活の課題、又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B	事業の苦労した点・課題	市民に対しては、市のホームページや広報誌への掲載により啓発しているが、より多くの市民に水の大切さを認識してもらえるよう周知できるよう活動していくことが必要である。		
			成果向上の可能性	5 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。 4 3 2 1 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。	3						
			施策への貢献度	5 施策推進への貢献は多大である。 4 3 2 1 施策推進に向け、効果を認めることができる。 1 施策推進につながっていない。	3						
	一次判定（所属長）	効率性	手段の最適性	5 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 4 3 2 1 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。 1 活動指標の実績も上がりず、効率的な手段の見直しが必要である。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業の方向性	■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) 水道事業において節水意識の啓発は重要であるため、事業継続と判断する。		
			コスト効率	5 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。 4 3 2 1 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。 1 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。	3						
			市民（受益者）負担の適正	5 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。	4						
		効率性	目的の妥当性	5 施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。 4 3 2 1 この事業では施策の目的に沿った事業である。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	所属長の課題認識	水道事業の現状や課題について理解を深めてもらい、今後の事業取組に理解を得るために、また、水の大切さを理解してもらうために、小学生を対象とした施設見学に取り組んでいく。今後は、より多くの市民に関心を持ってもらうような活動を検討する必要がある。		
			社会情勢等への対応	5 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 4 3 2 1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4						
			市の関与の妥当性	5 市が積極的に関与・実施すべき事業である。 4 3 2 1 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。 1 市は関与しないで、民間や市民団体等に委ねるべきである。	4						

施 策 を 踏 ま え た 判 断	二 次 判 定	<input type="checkbox"/> 一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。 <input checked="" type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。 <input type="checkbox"/> 一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 <input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 <input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 <input type="checkbox"/> 既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		 <p>指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。</p>

行政評価委員会の答申	外 部 評 価	答申の内容
------------	------------------	-------

今後の方針性（ACTION）

の経 最 終 者 判 会 議	事業の方向性	コメント欄
		<input type="checkbox"/> さらに重点化する。
		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する。
		<input type="checkbox"/> 見直しの上、継続する。
		<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。
		<input type="checkbox"/> 事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。